

西中だより

平成28年度 No.21
平成28年11月15日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 新人ロードレース大会の結果について &&&

- 主な部門と入賞者は、次のような結果でした。本校の1・2年生は、どの部門でも頑張り、多くの生徒が入賞しました。走ることは全ての運動の基本です。これからも心身を鍛え、自分が追い求める運動のレベルを高める手段の一つとして、積極的に取り組んでくれることを期待します。【敬称略】
【個人】男子1年：2位 横田星那、4位 星野勝太、5位 石川和人、男子2年：3位 増子翔矢
女子1年：4位 星野海美、女子2年：6位 大森美優、10位 荒川真帆
【団体】学校対抗：1年男子 1位、1年女子 3位、2年男子 3位、2年女子 3位
学校対抗（1・2年総合）：男子1・2年総合 2位、女子1・2年総合 3位
- 近年は健康を保持増進させる一つの方法として、自分のペースで長い距離を走るジョギングに励む人が増加しています。こつこつと自分に適した方法で頑張り、来年度は更に躍進してくれることを心から期待します。 <がんばれ！西中生>

＃＄＃ 松明あかしの思い出 ＃＄＃

- 11月11日（土）、夜6時50分、前生徒会長の溝井元輝君が点火した西袋中学校の大松明が赤々と燃えはじめました。みんなの思いがこもった松明です。燃え上がる炎を見つめながら、竹を切り出した人、萱を刈ってくれた人、ビニールハウスまで運び、そして乾燥した後に学校まで運んでくれた人、その後、萱を詰め込み、こもで包んで、松明に仕上げてくれた人。前日には、子ども達と一緒に松明を五老山に建ててくれた人。多くの人々の協力で出来上がった松明が、今年も晩秋の夜空に美しく燃えていました。



《 校長のつぶやき 》・・・ 落ち葉掃きに思いを寄せて（清掃の大切さ）・・・

- 自然は私達に様々な恵みを与えてくれます。例えば、米、リンゴ、サツマイモなどです。そして、様々な種類の樹木も紅葉という美しい贈り物をして、冬に備えます。落ち葉は、紅葉がその役目を終えて、姿を変えたものです。農耕民族である日本人は、落ち葉を集め、肥やし（肥料）として活用してきました。小さい頃は、みんなで落ち葉を掃き集め、焚火をして焼き芋を作り、食したものです。それがまた季節の楽しみでもありました。



- 現在、毎日のように校門前の歩道を、生徒会の役員とサッカー部や野球部の部員が落ち葉掃きを手伝ってくれます。以前にも書かせてもらいましたが、「清掃は汚さないために行なう活動」です。そして、昔から内面を育てる具体的な方法として、実行されてきました。学校では、短い時間に集中して活動する力を養い、手順（段取り）を身に付ける手段の一つとして行なっています。清掃が短時間で集中してできるようになると、それに伴い整理整頓や時間の使い方が上手くなるから不思議です。